



プレス加工コストダウンニュース

材質を問わず、薄く、強く、軽く、板厚も均一に、形状も自由自在に加工できる高度な深絞りの技術を持つ加藤製作所なら、必ず安心・安全な製品づくりのお役に立てます。

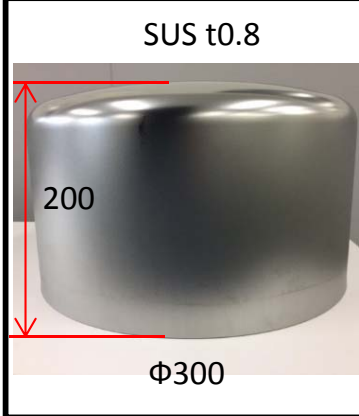


ワンランク上の当社の絞り技術



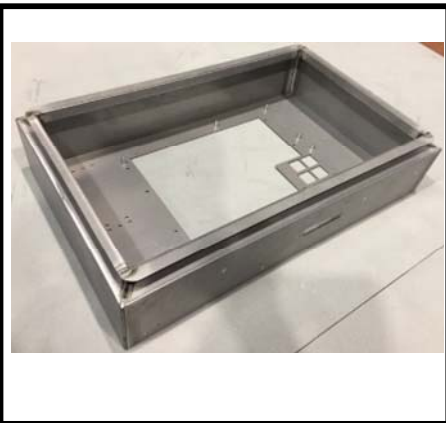
7月初旬に岐阜県からの誘いで新技術・新工法を持った会社数10社が、某自動車メーカーに伺い2日間に亘り、展示商談会を行ない当社も参加します。その際のテーマはやはり自動車部品の軽量化であり、当社も先んじて試作開発したアルミニウムの深絞り加工品をPRするつもりです。昨今、車載部品でEV車へのシフトチェンジが急速に進んでいます。よくモーターケースの深絞り製品が取りざたされますが、単純な外装ケースの成形だけでなくそこにプラスαの付加価値を求められる様になりました。当社のワンランク上の絞り技術がどこまで期待に添えるか楽しみです。

超深絞り加工における技術留意点



ステンレスやアルミ、角絞りでも多段絞りなどは、絞り加工が大変難しく、超深絞り加工とも言われています。特に量産化まで結びつけるには幾つかの高いハードルを超えなければなりません。正直、最後の調整は人の手でと言った具合に当社でも試行錯誤の繰り返しでモノにするのが本当の所ですが、技術的に留意するポイントを幾つか紹介します。①材料の厚みやロール目、硬度、伸び②どんな加工油を使用するか？粘度・成分・塗布の方法や場所③金型ではしわ押さえ力、クリアランスやRなどです。絞りでお困りの際は是非お声をかけ下さい。

特注筐体製作なら当社にお任せ下さい。



当社の強みのひとつは、板金溶組加工です。今春ファイバレーザ複合機の導入で更にパワーアップしました。溶組についてもファイバレーザ溶接機を有し、一品物から量産まで一気に通貫に加工できます。中でも得意な製品は機械や電気機器などを中に納めた箱（外装フレーム）です。既に太陽光発電のパワコンディショナーを始め、多くの筐体製作の実績があります。今月7月末には新たなWebサイト「特注筐体製作.COM」を開発する予定ですので楽しみに。

～今月の一言～

最新ニュース：ご来社！お客様が多数！



当社にはおかげさまで毎月多くのお客様が工場見学にご来訪されます。その目的の多くは2001年より取組んでまいりました高齢者雇用の視察です。昨今人手不足が大きくクローズアップされるようになり、勤労世代が減少する中、労働力不足を高齢者にと声が高まっています。6月は岐阜県中小企業総合人材確保センター、デソー労働組合、リクルート、PHP研究所の皆さんが起こしになり熱心に見学・質疑応答と有意義に過ごされました。

深絞り技術をご紹介します！カバー・タンクなどの設計・製作でお困りの際には、ご相談ください！

株式会社加藤製作所では、プレス加工技術の中でも絞り加工技術を得意とし、タンク・カバー部品などの量産加工に対応しています。対応可能な材質は、鉄系の材料はもちろん、ステンレス・アルミ・チタン・ハステロイ等、様々です。技術ニュース内でご紹介をした以外にも、これまでに製作してきた事例などを絞り加工.comに随時更新してまいります。量産品の設計される際に、考えて頂きたいプレス加工におけるポイントなども掲載しています。ご不明点や知りたい情報がありましたら、お気軽にご相談ください！

絞り加工、プレス絞り加工、絞り、深絞り

しほりかこうドットコム
絞り加工.COM

複雑な形状の深絞り加工 加工の難しい材質の深絞り

☎ 0573-65-4175

FAX 0573-65-4177

株式会社加藤製作所

担当/営業部 西尾・兼松 (アシスタント 吉田)